

令和7年度第1回中区政策会議学生部会 報告

Q1.現行計画のKPI達成状況、各指標における評価への意見

■全体

- 市民意識調査の数値が年度により大幅に変わることもあるため、指標においては、「～と思いますか」という主観的なものより「～していますか」のように客観的なものを設定できたら良いと思う。

（例：活動が活発なまちだと思いますか→●●の活動をしていますか）

- 定量的な指標があった方が評価は分かりやすいと思う。
- 指標の立て方として、堺市全体のポイントと比較するのも一つではないか。
- 他区の人に中区を見てもらって、中区を評価してもらうのも面白いと思う。

■安全

- 体感治安と実態治安があると思うが、体感治安だけでは成果が計りづらいのでは。
- 全市での数値アップ率より中区のアップ率が高く、中区は防犯や安全に力を入れているのかなと感じている。

■子育て

- 子育てをしている人としていない人では評価に乖離があるのではないか。

Q2.各要素の取組の方向性や方針、成果指標（KPI）における見直しの必要性、見直すべき内容

■全体

- 定量的な指標の設定を検討してはどうか。

■安全

- 意識も大事だが、犯罪件数などの実件数を指標とするのはどうか。
- 「避難所はどこかを知っていますか」といったような具体的な質問の指標はどうか。

■子育て

- 子育てをされている方々から見た子育てのしやすさを指標にできないか。

■福祉

- 現在実施している事業に合わせた指標に変更すべきではないか。

■将来像実現のための重点事業

- 水賀池公園の整備事業は、市レベルの大きな事業を区でやっているのだから、区を代表するものとしてプッシュしていければ良いと思う。
- 水賀池公園の整備によって、今後、深井駅周辺のイメージが良くなると思う。